

## 第1回決算審査特別委員会会議録

- 1 開会日時 平成26年9月3日(水)午後1時47分
- 2 閉会日時 平成26年9月3日(水)午後1時55分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員  
5番 丸山 明君      6番 治徳 義明君      8番 金谷 文則君  
10番 松田 勲君      11番 北川 勝義君      13番 福木 京子君  
15番 岡崎 達義君
- 5 欠席委員  
なし
- 6 説明のために出席した者  
なし
- 7 事務局職員出席者  
議会事務局長 富山 義昭君      主 査 青木 智彦君
- 8 協議事項  
1) 委員長、副委員長の互選について
- 9 議事内容 別紙のとおり

午後1時47分 開会

○議会事務局長（富山義昭君） ただいまから決算審査特別委員会の委員長、副委員長の互選を行っていただきますが、赤磐市会議規則第126条によりまして互選の方法は単記無記名投票もしくは指名推選のいずれかということになるわけでございます。赤磐市議会委員会条例第10条第2項の規定によりまして委員長、副委員長がともにいない場合は年長の委員が委員長の職務を行うとありますので、この中で最年長委員であります丸山委員に委員長の職務をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

○委員（丸山 明君） とりあえず仮の司会を務めさせていただきます。

それでは、この決算審査の委員長の選出について、先ほど局長からありましたようにその方法は規則では投票もしくは指名推選でということになっております。いかがいたしましょうか。

はい、岡崎委員。

○副議長（岡崎達義君） 推薦したいと思います。

北川委員をぜひ委員長にと推薦したいと思います。

○委員（北川勝義君） よろしいか。

○委員（丸山 明君） はい、北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕は勉強を皆さんせられにゃおえんけえ、金谷さんも1回しとる。僕は3遍も4遍もしとるけえ、5遍ぐれえしとる、佐藤さん以外、金谷さんが入って以外、それから去年以外はしとるから、たまには新人勉強してもらわにゃおえんけん、丸山さん、新人で丸山さんやられりゃええんじゃねえかと思うんじゃ。と思うんです、私は。勉強してくれるという意味で。

○委員（丸山 明君） 私も1年はたったんですけども……。

○副議長（岡崎達義君） 推薦で。

○委員（丸山 明君） ええ、推薦で。

○委員（北川勝義君） 投票はええが。面倒な。

○委員（丸山 明君） 今それで、お名前が……。

○委員（北川勝義君） ちょっとええかな。ええかな。

○委員（丸山 明君） どうぞ。

○委員（北川勝義君） 僕は、演説するんじゃねんで。僕はこういう性格じゃから、何でもせえ言うたり、してあげたりやりゃあええと思うんじゃ。協力する。過去のこと忘れてぴっちりすると、恨みもつらみもねんじゃけど、今ごろしょうたらようわけのわからんこと言うたりするんで、人がおられるん、議員さんで。委員長報告に質問するとか、僕ら委員長報告質問してもらえんじゃ。審議して、審議してねえことまではしゃべる必要はねえ、審議してねえ言やええわけ。自分の考えをしゃべるけんややこしゅうなるだけで、自分でああ言おうこう言

おう言うから。

せえで僕は何でもええわ、丸山さんにしても本当勉強してもらおうと思うたんもあって丸山さん、嫌がらせで言よんじゃねえ、僕の性格じゃから。僕なら僕がなりやなってもええ、別に構へん。性格的にどうこう言う話しようんじゃねえ。ただ、こういうときに、もう質問しちやあいけんですよということは抜きにしてほしいと、委員長質疑はもうどしどし受けりや、金谷さん、しょうるな僕は、当然。受けてもろうて、勉強してもろうて、切磋琢磨ならにやおえんというて、報酬もらよんじゃからという、こういう演説しよんじゃけど、と思うたんで、あえて別にしてえとかしとうねえとか、構やへん。やっぱりやるんじゃったら進行してもろうてきちっとやっていきやえんで、僕はそういうことをやりようりや、ちょっと質問してえことがあったから、去年は質問させてもらおうというて堂々と質問させてもらおうたん。

皆これ真面目な気持ちでやりよん。僕はもし私が受けたら、丸山さんじゃのうて私が受けたらで、受けたら僕は慎重にやらせてもらいてえと思よん。大事な予算じゃから、遊び半分で時間が来たから、5時がきたから、そりや8時じゃ9時じゃちよっともうむちゃじゃけど、そりやもう大体スムーズ、進行してわかりようるけん、6時ごろぐらいまで、6時言うたら言い過ぎじゃあけえ6時にはしまいてえということで、みんなが協力して2日間で終われるというようなことにすりゃあ、ねえことは仕方ねえです。質問をすな言よんじゃねんで、一切。局長、質問すなという話が出たりするけど、局長、質問はしてもらやえん。審議してねえことまで答えることはねんで。それで、そういうことをやっていきやあえんじゃねえかと、今、というのが僕の気持ちで、今言ようるの。前は……。

○副議長（岡崎達義君） そうやってもろうたらよろしいですから。

○委員（北川勝義君） いや、前、金谷さんも出る言うたときいろいろあったがんな、金谷さん。僕は去年のとき金谷さんが、あえて僕は今金谷さんというて言やえかったん、僕はあえて言わなんだ。去年金谷さんというて言うたら言うたわな。やるんじゃというてなったから。そういうことになったから。

それで、これも僕は腹持って言よんじゃねんじゃけど、そういう派があったり会派みてえにあってやりよんじゃったら、あなたらと言うたら言葉おかしいんじゃけど、そっちのほうが出りやえんじゃねえかというのを僕があえて言わせてもらようるという意味で、皮肉言ようるようなことになるけど、そういう意味で言よんで、丸山さん、勉強は勉強じゃけてもらおうべきじゃと思うて僕は言うただけのことで。

○副議長（岡崎達義君） ぜひ、北川委員長でお願いします。

○委員（丸山 明君） そういう声ですので、ぜひよろしくをお願いします。

北川さんに、僕もしっかり審査していただいて、私は聞かせていただきながら、このたびは勉強させてください。一生懸命勉強したいと思うてます。協力します。ぜひ北川さん、よろしくをお願いします。

じゃ、それでは、皆さん拍手もいただきましたし、北川委員長ということで決定いたしましたので、以後の議事の進行は北川委員長にお願いします。よろしくお願いします。

〔委員長交代〕

○委員長（北川勝義君） 済いません。ほんなら、先ほど言いましたんで、挨拶はしません。

そういうことで、言い方悪いんじゃないけど、何でも早う済まさないやおえんとかなんとかというて質問しちゃおえんとかというの僕は大嫌いな性格なんで、この間の運動会とフェスティバルとダブるのと同じでこういうことようあると思うんで、これ気をつけてもらわにやおえんが一番のことなんで、質問はしていただきやええと思うんです。

せえから、進行もなかなか私の性格じゃけん、聞かにやおえんとか、誰も聞いてくれなんだら委員長報告できんというんがあるんで、あえてじゃからその間に誰か考えてくれる前に言わせてもらうというのをやりようつもりなんじゃないけど、中にやそりやいけん、みんなのだけ聞いてから言わんでもえんじゃ言うけど、そういうわけにや議事録がのうなってしまうんで、そのところは1つあると思いますんで、そういうことも踏まえていかせて、受けさせていただけたいと思います。

それで、副委員長のほうをどなたがやっていたか、副委員長のほうをお願いしてえと思ひます。

今、委員長のほうが推薦じゃったんで、副委員長のほうも推薦ということでやらせてもらうほうがあえんじゃねえかと思ひますんで。

はい、松田委員。

○委員（松田 勲君） 金谷委員がいいと思ひます。

○委員長（北川勝義君） よろしいか。

金谷さん、よろしいか。

○委員（金谷文則君） はい。

○委員長（北川勝義君） それでは、副委員長に金谷委員が決定しましたので、よろしくお願ひいたしたいと思ひます。

ほんなら金谷さん、ちょっとこっただけ席ついてください。

ちょっと金谷さん、一言。

副委員長に金谷さんがなりましたので、一言。

○副委員長（金谷文則君） それでは、副委員長を御指名いただきましてありがとうございます。一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○委員長（北川勝義君） ありがとうございます。

それでは、これで第1回の決算審査特別委員会を終わりたいと思ひます。皆さん御苦労様でした。

午後1時55分 閉会